

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	指定文化財の管理又は修理等に要する経費は所有者等の負担とされているが、多額の経費を要し、所有者等がその負担に堪えない場合、所有者等に対して予算の範囲内で補助金を交付している。令和2年度については、国庫補助事業である鶴林寺防災設備整備事業の随伴補助を行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	指定文化財を適切に保存管理することができ、また、公開されることで、文化財の保護と活用を図ることができる。
対象 ※誰、何に対して	市内の指定文化財のうち、修理又は保存管理等文化財保護のため、所有者等の特別な負担があり、補助が必要な文化財。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	指定文化財の状況を把握し、所有者等からの申請を受けて、必要に応じて補助を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	1,208 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,208 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	04 文化財保護費
細目	010 文化財保護活動事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	320 千円	320 千円	1,208 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	保存管理内容や修理内容は、対象となる文化財の状況によって様々であり、個別に判断していく必要がある。補助申請の希望があるが、予算編成上、数年に及んで申請を見合わせてもらっているものもある。今後も、整備及び修理の計画が見込まれるため、適切に対応する必要がある。

事務事業名	指定文化財保存管理補助事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定文化財件数	件	123	124	125

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
文化財補助金申請件数	件数	4	4	5
文化財補助金申請額	千円	320	320	1,208
活動指標分析結果	指定文化財の保存管理及び修理に対する補助金申請の件数と総額を指標とすることで、この事業の活動の規模を確認できると考える。指定文化財の保護、活用に資すると判断される申請に対して補助を行っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
文化財補助金事業実施件数	件	4	4	5	令和2年度	6
文化財補助金事業補助金交付額	千円	320	320	1,208	令和2年度	480
成果指標分析結果	保存管理及び修理の内容の詳細は数値化することになじまないため、補助金申請に基づいた実施件数を補助金交付額指標とすることで、この事業の成果の規模を確認できると考える。昨年度に比べ補助事業が多かったが計画どおり実施できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化財保護法、加古川市文化財の保護に関する条例

【事業概要】

現状と課題	市内の埋蔵文化財包蔵地内では、住宅建設等の開発計画があり、早めに情報を得て適切に埋蔵文化財調査を実施している。現在、埋蔵文化財の緊急発掘以外の文化財調査がほとんど実施されておらず、今後、文化財の保存と活用に必要な、地域の歴史文化に関する調査を実施していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	文化財を開発や不適切な行為による破壊、消失、損傷などから防ぎ、適切に保護する。
対象 ※誰、何に対して	開発に伴い破壊のおそれのある埋蔵文化財、及び保護のための調査が必要なその他の文化財。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	開発に伴い破壊のおそれのある埋蔵文化財については、埋蔵文化財包蔵地内の開発行為の前に確実に確認調査等を実施し保存に努める。その他の文化財については、必要に応じて保存・活用のために適切な調査を実施する。

【コスト】

		令和2年度（決算見込）
事業費合計		11,108 千円
財源内訳	国庫支出金	2,150 千円
	県支出金	1,075 千円
	地方債	千円
	その他特財	6,739 千円
	一般財源	1,144 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	10 教育費
項	07 社会教育費
目	04 文化財保護費
細目	005 文化財調査事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	16,578 千円	13,218 千円	11,108 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>市域では今後も各種公共事業や民間の宅地開発が活発に行われると見込まれることから、体制の整備及び関係機関の連携に留意し、埋蔵文化財の調査を着実に進めていく必要がある。また、その他の文化財についても、引き続き適切に調査を実施し、保存・活用に取り組むことが重要である。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	文化財調査事業	部局名	教育指導部
		課(室)名	文化財調査研究センター

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
埋蔵文化財包蔵地件数	件	649	651	653
指定・登録文化財件数	件	160	161	162

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
文化財調査依頼等件数	件	146	125	114
活動指標分析結果	公園整備や区画整理、ほ場整備などの大規模公共事業実施による試掘、確認、本発掘等の調査に加え、民間の開発行為に伴う調査件数は、今後もやや逡減傾向で推移していくと見込まれる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
文化財調査実施件数	件	34	33	35	令和2年度	40
文化財調査報告書発行件数	件	3	3	3	令和2年度	3
成果指標分析結果	埋蔵文化財が存在する場合や存在が不明な場合など、埋蔵文化財を破壊するおそれのある場合に、事前に確認調査を実施している。（令和2年度では調査依頼等件数の30.7%）					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	市民会館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和48年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術振興基本法、加古川市民会館条例、加古川市民会館条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	市民会館は、市民文化の向上と福祉の増進を目的として昭和48年にオープンした。平成21年度より指定管理者制度を導入し、民間活力によるより効果的な施設の管理運営を実施しているが、市民ニーズが多様化する中、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供するとともに、集会・研修会をはじめとする諸会議等幅広く貸館業務を行う。なお、事業実施にあたっては、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	121,664千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	21,269千円
	一般財源	100,395千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	13 市民会館費
細目	005 市民会館管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	133,261千円	137,276千円	121,664千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされ、サービスの質が確保されている。今後も市民に親しまれる魅力ある施設となるよう、より効果的なモニタリング手法を検討する必要がある。また、平成25年9月から1年間改修工事を行ったが、工事していない設備の老朽化が著しく、安心して利用できるよう計画的改修が必要である。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	市民会館管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	10,843	10,609	2,886
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用者数	人	208,973	218,126	48,264	令和2年度	230,000
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成6年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市立松風ギャラリーの設置及び管理に関する条例、条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度の導入を行った。また、令和元年度からは公募により指定管理者の選定を行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供するために貸館業務を行う。また、芸術文化の振興を図るため自主事業を実施する。なお、管理運営については、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	20,403千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	20,403千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	25 文化振興費
細目	005 松風ギャラリー管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	18,145千円	18,636千円	20,403千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、指定管理者による管理運営がなされており、サービスの質が確保されている。施設規模や貸館数も少ないことから、今後はより地域で利用してもらう方法を模索する必要がある。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	松風ギャラリー管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	1,603	1,520	483
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	24,870	21,392	8,490	令和2年度	22,900
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	総合文化センター管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和60年度～永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川総合文化センターの設置及び管理に関する条例、条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	民間活力による効果的な施設の管理運営を実施するため平成21年度より指定管理者制度を導入している。今後、市民ニーズの多様化に対応するため、指定管理者のモニタリングを効果的に行う必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	芸術・文化に触れる機会の創出と市民文化の向上に寄与し、福祉の増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民及び利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	市民に文化活動の場を提供する貸館業務や、主に文化、考古、宇宙科学等にふれる機会として自主事業を行う。なお、管理運営にあたっては、指定管理者制度を導入している。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	108,894千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,141千円
	一般財源	107,753千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	18 総合文化センター費
細目	005 総合文化センター管理運営事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	100,771千円	113,376千円	108,894千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>指定管理者制度の導入により、民間事業者のノウハウを活かした事業展開、管理運営がなされ、サービスの質が確保されている。今後も市民に親しまれる魅力ある施設となるよう、より効果的なモニタリング手法を検討する必要がある。また、開館後相当年が経過しており、設備の老朽化が目立つため、安心して利用できるよう計画的な改修が必要である。新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は一時休業となり、再開後も人数制限など従前と異なる運営となった。回復まで時間を要するが、十分な対策を講じ運営していきたい。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	総合文化センター管理運営事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
市民（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定管理者自主事業入場者数	人	9,508	1,663	97
モニタリングの回数	回	4	4	4
活動指標分析結果	自主事業の入場者数は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より減少した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
施設利用人数（実績）	人	155,040	151,125	63,029	令和2年度	153,400
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、前年より利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	（公財）加古川市ウェルネス協会補助事業	部局名	市民協働部
		課（室）名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成19年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市補助金等交付規則、公益財団法人加古川市ウェルネス協会補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	「市民の総合的な健康づくり」「スポーツ」「文化」及び「コミュニティ」に関する事業を実施し、市民誰もが心豊かで健やかに暮らせるまちづくりを推進している。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	市民の総合的な健康の維持及び増進並びにスポーツ・文化・コミュニティの振興を図る。
対象 ※誰、何に対して	公益財団法人加古川市ウェルネス協会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公益財団法人加古川市ウェルネス協会が実施するスポーツ・文化・コミュニティの公益的な事業に対し補助を行う。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	76,432千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	7,000千円
	一般財源	69,432千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	27 ウェルネス費
細目	020 （公財）加古川市ウェルネス協会補助事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	73,465千円	77,034千円	76,432千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	多くの市民が事業に参加しており、市民のスポーツ・文化・コミュニティの振興を図る事業として存在意義は大きい。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	(公財)加古川市ウェルネス協会補助事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
公益財団法人加古川市ウェルネス協会	法人	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
補助金支出額	千円	73,465	77,034	76,432
活動指標分析結果	平成27年度に事業の精査を行い一部事業が委託事業となったため補助金支出額は減少したが、平成29年度に「かこがわ将棋プラザ」を開設したことにより運営費が増加している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
加古川駅南まちづくりセンター利用者数	人	30,266	34,872	12,062	令和2年度	30,000
将棋プラザ利用者数	人	10,600	11,159	5,135	令和2年度	10,000
成果指標分析結果	まちづくりセンターについては、平成29年度の移転に伴う部屋数の減少や活動内容による使用制限等により利用者数が減少した。かこがわ将棋プラザについては、将棋教室等に年間に1万人を超える市民が来場している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴い4/9～5/24は休館。また、利用定員の制限をしたため、利用者数は減少した。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	加古川清流戦開催事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成23年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	四段、三段棋士という将来の活躍が期待される若手棋士の登竜門となる公式棋戦という特徴があり、歴代優勝者にはタイトル保持者もいるなど棋界で目覚ましい活躍を遂げている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	将来の活躍が期待される若手棋士のタイトル戦を行うことにより、「棋士のまち加古川」を市のみならず全国に継続的に発信する。
対象 ※誰、何に対して	若手棋士及びイベント参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	プロ四段、奨励会三段、女流棋士及びアマチュア選抜計40名によるトーナメント戦を実施する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	2,199千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,199千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	25 文化振興費
細目	040 加古川清流戦開催事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	21,535千円	21,881千円	2,199千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	若手棋士の登竜門となる公式棋戦「加古川清流戦」を通して「棋士のまち」を全国に発信していくためには、継続した開催が必要である。令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となったが、引き続き事業は継続していく。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	加古川清流戦開催事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川清流戦開催数	回	1	1	0

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川清流戦出場者	人	40	40	0
活動指標分析結果	令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う市の対応方針を受け中止となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
集客数	人	180	447	0	令和2年度	600
成果指標分析結果	平成30年度は金・土曜日開催（例年は土・日曜日開催）となったこと、第2局で勝敗が決着し第3局が行われなかったことから、大盤解説会への参加者数が減少した。令和元年度は大盤解説会を中心に多くのファンで賑わった。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う市の対応方針を受け中止となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	芸術家支援・育成事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成27年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成26年度の公開事業評価の結果を受け、若手芸術家の支援・育成を図るため、平成27年度から(公財)加古川市ウェルネス協会の自主事業(市補助)ではなく市の主催事業として実施している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	若手芸術家に発表の場を提供するとともに、市民にクラシック音楽に触れる機会を提供する。
対象 ※誰、何に対して	音楽大学等を卒業予定の加古川市及び近隣市町出身・在住の新人クラシック演奏家、一般市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	音楽大学等を卒業予定の加古川市及び近隣市町出身・在住の新人クラシック演奏家の新人演奏会(入場料無料)を開催する。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	2,797千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,797千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	25 文化振興費
細目	020 文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	4,361千円	4,296千円	2,797千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市が地元の若手芸術家を支援し、文化芸術の香り高い風土を育成していくためにも継続が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	芸術家支援・育成事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業実施回数	回	1	1	1
活動指標分析結果	音楽大学等を卒業予定の加古川市及び近隣市町出身・在住の新人クラシック演奏家の新人演奏会(入場料無料)を開催した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	343	334	98	令和2年度	300
成果指標分析結果	無料で開催することにより、多くの市民がクラシック音楽に触れる機会を提供することができた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策で整理券の事前配布及び客席人数の制限を行ったため、来場者数が減少した。出演者は令和元年度・2年度ともに8人と継続して若手芸術家に発表の場として提供できている。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和26年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川市美術展・幼児画展ともに市民に定着し、出品数・来場者数も一定の水準を保っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	美術愛好家の創作意欲の高揚や、入賞作品の鑑賞を通じて地域の芸術活動の振興となることを目的とする。また保育園・こども園・幼稚園児の豊かな感性を育て、創作活動の発表の場を提供する。
対象 ※誰、何に対して	美術展…美術愛好家、幼児画展…市内の幼稚園・こども園・保育園に通う園児
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市美術展（日本画・洋画・写真・書道・彫塑・工芸）及び幼児画展を開催する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	1,592千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,592千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	25 文化振興費
細目	015 美術展開催事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	3,236千円	3,667千円	1,592千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	創作意欲の高揚や、鑑賞による芸術活動の振興、幼児の豊かな感性の育成など、地域の芸術文化振興を図るために継続していくべき事業である。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は市美術展が中止となったが、今後も引き続き事業は継続する。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	美術展・幼児画展開催事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
美術展開催日数	日	8	8	0
幼児画展開催日数	日	3	3	3
活動指標分析結果	美術展については3部門毎に週末を含む4日間を会期としている。幼児画展については週末を含む3日間を会期としているが、会期延長を望む声もある。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う市の対応方針を受け美術展は中止、幼児画展は例年（12月）と時期を変更（2月）しての開催となった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
美術展観覧者数	人	2,521	3,535	0	令和2年度	3,200
幼児画展観覧者数	人	3,291	2,842	2,786	令和2年度	3,400
成果指標分析結果	美術展・幼児画展ともに来場者数はここ数年一定の水準を維持しているが、会期中の天候に左右されることがある（平成30年度は美術展会期中に大雨・洪水警報が発令され来場者が著しく減少した）。令和2年度の幼児画展は新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言が発令されている時期と重なり来場者は微減。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	文化まつり開催事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	昭和39年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	文化芸術基本法

【事業概要】

現状と課題	市の委託事業ではあるが、原則参加費無料の催しのため、委託料で費用を賄いきれず、各団体の超過負担が多い。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	各種文化団体に広く発表の機会を与えるとともに、市内各施設にて多種多様なジャンルのイベント等を開催することで、市民に優れた芸術文化に触れる機会を提供する。
対象 ※誰、何に対して	文化連盟加盟団体及びイベント参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各種文化団体が所属する加古川市文化連盟に委託し「文化まつり」を開催する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	7千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	7千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	25 文化振興費
細目	020 文化活動振興事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	1,500千円	1,297千円	7千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	様々なジャンルの文化・芸術に、市民が身近にふれる機会を提供していくために必要な事業である。令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため中止となったが、引き続き事業は継続していく。

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	文化まつり開催事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
文化連盟加盟団体数	団体	22	22	21

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
文化まつり参加団体	団体	21	20	0
活動指標分析結果	これまで参加していなかった加古川フィルハーモニー管弦楽団が令和3年度より参加予定。新型コロナウイルス感染症のため、令和2年度は文化まつりの全ての行事が中止となった。また令和3年度も一部団体はコロナ対策に不安があるため参加を見送る予定。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	14,466	7,596	0	令和2年度	17,000
成果指標分析結果	参加者数は天候や同日開催の催しに若干影響されるものの近年特に大きな変化はない。令和元年度は新型コロナウイルス感染症のため2事業が中止となったことや、例年嵐あげと同日開催しているツーデーマーチの内容変更に伴い、参加者が大幅に減少した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う市の対応方針を受け事業中止となった。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	棋士のまち加古川事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	平成25年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	「棋士のまち加古川」の普及を通じて、市民への将棋文化の振興や青少年の健全育成、健康づくりなど、市民のウェルネスライフの実現を目指す。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	「棋士のまち加古川」の普及を通じて、市民への将棋文化の振興や青少年の健全育成、健康づくりなど、市民のウェルネスライフの実現を目指す。
対象 ※誰、何に対して	市民及びイベント参加者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	将棋文化普及のためのイベントや教室、将棋大会等を開催する。また、市内小学校においてプロ棋士等を講師に招き「将棋の授業」を実施する。その他、パンフレットや関連グッズの作成及び配布、将棋文化振興自治体サミットへの参画、マスコミへのPRなどを行う。

【コスト】

	令和2年度(決算見込)	
事業費合計	4,203千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,203千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	25 文化振興費
細目	045 棋士のまち加古川事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	3,448千円	5,686千円	4,203千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	「棋士のまち加古川」を発信することで、市民の将棋に対する興味を喚起することで将棋に親しみを持ってもらい、市民の将棋文化の振興や青少年の健全育成、健康づくりなど、市民のウェルネスライフの実現を目指す。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	棋士のまち加古川事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	スポーツ・文化課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口（10/1付推計人口）	人	263,697	262,308	261,041

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
棋士のまち加古川パンフレット発行部数	部	2,000	2,000	0
棋士のまち加古川将棋フェスタの開催	回	1	1	1
活動指標分析結果	「棋士のまち加古川」を全国に発信するとともに、地域の将棋文化の振興を図った。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴い啓発物を配布できる多くのイベントが中止になったため、新たなパンフレットの作成は見送った。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
将棋フェスタ参加者数	人	1,500	1,500	276	令和2年度	600
成果指標分析結果	平成28年度は2回開催。ここ数年は世代を超えて参加できる「ファミリーペア将棋大会」が好評で、午前中から閉会まで多くの市民の参加がある。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴い規模を縮小して開催した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	国際交流委託事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	公益財団法人加古川市国際交流協会に委託して実施している。近年、外国人の増加に伴い、様々な相談への対応、日本語の指導、文化交流など、多文化共生社会の実現に向けた事業の充実が求められている。姉妹都市交流については、国際情勢の変化に応じて実施を判断する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民の国際交流機会の創出とともに国際理解を深める。また、外国諸都市の相互理解の促進と友好親善を深める。在住外国人に対する日本語指導を行うとともに、様々な生活に関する問題解決を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民、姉妹都市等の外国人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	公益財団法人加古川市国際交流協会に委託し、効果的に加古川市の国際交流事業を実施する。

【コスト】

		令和2年度(決算見込)
事業費合計		6,158 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	6,158 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	26 国際交流費
細目	005 国際交流事業

【コスト推移】

	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(決算見込)
事業費合計	8,405 千円	5,291 千円	6,158 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>コロナ禍において人的交流は難しかったが、SNS等のツールを活用し姉妹都市等との交流を密に図ることができた。また、より多くの市民が参加できる事業展開に努め、災害時等における外国人支援のための取組を展開するなど、多文化共生社会の実現に資することができた。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和2年度実施事業〉

事務事業名	国際交流委託事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	263,593	262,308	261,041
市内在住外国人	人	2,599	2,735	2,999

【事業実績】

活動指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
実施事業数	事業	37	42	29
活動指標分析結果	市民や外国人住民、登録ボランティアのニーズに応えた事業や経常的な事業を29事業実施した。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施事業数は減少したが、一部事業をオンライン開催とする等の工夫を行った。引き続きニーズの把握に努め、事業を展開していくことが必要である。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目標値
事業参加人数	人	1,794	2,313	1,368	令和2年度	1,804
日本語学習者数	人	282	259	257	令和2年度	250
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により海外派遣事業や各種講座等の複数の事業が開催できず、開催した事業についても参加者が減少した。一方で感染症対策を行って実施した事業や、動画配信やウェブ会議サービス等の活用により、日本語学習者については平常時と遜色ない人数に対して学習機会を提供できた。					

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	国際交流員活用事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【基本情報】

基本目標	02心豊かに暮らせるまちをめざして
政策	03スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02豊かな文化・芸術をはぐくむ
事業実施期間	令和2年度 ~
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	出入国管理及び難民認定法の改正に伴う在住外国人の将来的な増加見込みに加え、SNS等のオンラインツールの発達によって国際交流の機会が増え、外国語によるコミュニケーションの必要性が高まっている。一方で、行政においてこれらの状況に十分に対応していくための体制は整っていない。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市内の在住外国人の増加やオンラインツール等の発達・普及による国際間コミュニケーションの機会増加が見込まれるなか、国際化への対応が急務となっている。このことから「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」を活用し、外国青年を招致・配置し、地域社会や行政の国際化の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民、姉妹都市等の外国人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	総務省、文部科学省、外務省が推進する「語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」の活用により国際交流員（CIR）を招致・配置する。

【コスト】

	令和2年度（決算見込）	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	26 国際交流費
細目	015 国際交流員活用事業

【コスト推移】

	平成30年度（決算）	令和元年度（決算）	令和2年度（決算見込）
事業費合計	0千円	0千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	国際交流員が令和2年度中に来日予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により招致することができなかった。今後の状況は不透明ながらも、令和3年度中に来日する意向とことから、配置が実現した後には地域社会及び行政の国際化を推進するための各種事業を展開する予定である。

加古川市事務事業評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	国際交流員活用事業	部局名	市民協働部
		課(室)名	市民活動推進課

【対象】

対象指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
加古川市人口（10／1付推計人口）	人	0	0	261,041
市内在住外国人	人	0	0	2,999

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
配置日数	日	0	0	0
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、招致予定であった国際交流員が令和2年度中に着任できなかった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標年度	目 標 値
参加事業数	件	0	0	0	令和2年度	9
国際交流員派遣・翻訳等対応数	件	0	0	0	令和2年度	40
成果指標分析結果						